



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 テンアライド 株式会社

コード番号 8207 URL <http://www.teng.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長

(氏名) 飯田 永太

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 経理部長

(氏名) 加藤 慶一郎

TEL 03-5768-7490

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・マスコミ向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	7,712	△0.3	△81	—	△89	—	△159	—
28年3月期第2四半期	7,734	0.6	△98	—	△117	—	△210	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △155百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 △214百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	△6.16	—
28年3月期第2四半期	△8.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	9,709	5,047	51.8	193.89
28年3月期	10,284	5,206	50.5	199.87

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 5,033百万円 28年3月期 5,188百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,816	1.9	139	239.0	129	360.7	50	—	1.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	26,579,527 株	28年3月期	26,579,527 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	618,488 株	28年3月期	618,368 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	25,961,102 株	28年3月期2Q	25,961,349 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページの「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用情勢の改善など景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、中国経済の減速に加え、英国のEU離脱問題等により、円高が急速に進むなど企業業績の悪化懸念が強まり、景気の先行きは不透明な状況にあります。

また、個人消費に関しましても、一部で高価格帯の商品の需要が増加傾向にあるといわれますが、個人所得に対する先行きの不透明感により、引き続き厳しい経営環境が続いております。

特に外食産業におきましては、原材料価格の上昇に加え、人手不足による人件費の高騰に直面しており、経営を取り巻く環境は厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、堅実な店舗運営と着実な収益構造の確立を図ってまいりました。

店舗状況といたしまして、当第2四半期連結会計期間末における当社グループの店舗数は、「旬鮮酒場天狗」20店舗、「和食れすとらん天狗（「旬鮮だいにんぐ天狗」「しゃぶすき本舗」含む）」41店舗、「テング酒場（「蔵BAR BECO2」含む）」61店舗の合計122店舗となっております（内フランチャイズ2店舗）。

もともと、このような取り組みに際し、あくまで当社グループは愚直なまでにお客様への四つの誓い「良いものを安く、早く、清潔に、最高の雰囲気です」を実現することを、当社グループ一丸となって邁進することを徹底しております。こうした観点から、従来から継続して取り組んでおります店舗営業に係る内部監査や衛生監査について、更に内容の充実に取り組み、理念の徹底を図っております。

以上のような取り組みの結果として、当第2四半期連結累計期間における連結売上高は、77億12百万円で前年同期比99.7%となっております。

利益面につきましては、セントラルキッチンの移転に伴い一時的に原価率が悪化したものの、効率化のための諸施策を実施したことにより、主に人件費が減少し、営業損失は81百万円（前年同期は営業損失98百万円）、経常損失89百万円（前年同期は経常損失1億17百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億59百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失2億10百万円）となり、収益率は改善しておりますが、黒字化には至っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて5億75百万円減少し、97億9百万円となりました。この主な要因といたしましては、固定資産が57百万円増加したものの、現金及び預金が6億49百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて4億16百万円減少し、46億61百万円となりました。その主な要因といたしましては、その他の流動負債が52百万円、長期借入金の返済により長期借入金が2億42百万円減少したことによるものであります。

また、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて1億58百万円減少し、50億47百万円となりました。その主な要因といたしましては、利益剰余金が1億59百万円減少したことによるものであります。

2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ6億49百万円減少し、17億39百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況については下記の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、1億8百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失による1億31百万円によるものであります。前年同期において使用した資金は1億35百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、2億70百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出2億8百万円によるものであります。前年同期において使用した資金は3億93百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、2億70百万円となりました。これは主に長期借入金の返済2億42百万円及びリース債務の返済28百万円の支出によるものであります。前年同期において使用した資金は94百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、現時点において平成28年5月9日付「平成28年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

※業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確定要素を含んでおります。そのため、実際の業績等は、今後の様々な要因の変化等により予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社は従来、有形固定資産の減価償却方法について、主として定率法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法へ変更しています。この変更は、第1四半期連結会計期間の日高セントラルキッチンの稼働開始を契機として減価償却方法の見直しを行った結果、セントラルキッチンの集中生産に加えて出店戦略の見直しにより、従来の新規出店を中心とした戦略から、既存店舗の有効活用や業態変更を主とした戦略への方針転換が進んだことで保有資産の長期安定的な稼働が見込まれることから、定額法の方が経済的実態をより適切に反映すると判断したことによるものです。

以上の変更により、従来の方によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失がそれぞれ15百万円減少しております。

(追加情報)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,488,946	1,839,487
売掛金	145,957	119,075
たな卸資産	178,057	217,558
その他	389,215	393,327
貸倒引当金	△51,291	△51,291
流動資産合計	3,150,885	2,518,157
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,103,193	9,008,610
減価償却累計額	△7,330,741	△7,235,719
建物及び構築物(純額)	1,772,452	1,772,891
機械及び装置	1,484,303	1,490,800
減価償却累計額	△1,232,835	△1,207,982
機械及び装置(純額)	251,468	282,818
工具、器具及び備品	1,850,865	1,823,993
減価償却累計額	△1,621,974	△1,603,681
工具、器具及び備品(純額)	228,891	220,312
土地	245,103	245,103
建設仮勘定	-	8,633
有形固定資産合計	2,497,915	2,529,759
無形固定資産	127,397	149,250
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,330,638	4,308,258
その他	180,542	206,841
貸倒引当金	△2,900	△2,900
投資その他の資産合計	4,508,281	4,512,199
固定資産合計	7,133,594	7,191,208
資産合計	10,284,479	9,709,365

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	389,563	355,243
1年内返済予定の長期借入金	485,000	453,750
未払法人税等	115,171	99,375
資産除去債務	22,500	37,400
店舗閉鎖損失引当金	13,239	8,547
工場移転損失引当金	19,845	4,459
その他	902,569	850,061
流動負債合計	1,947,890	1,808,837
固定負債		
長期借入金	1,026,250	815,000
退職給付に係る負債	1,146,675	1,103,551
役員退職慰労引当金	11,038	11,378
資産除去債務	132,475	132,861
その他	814,083	790,068
固定負債合計	3,130,522	2,852,859
負債合計	5,078,412	4,661,696
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,257,201	5,257,201
資本剰余金	1,320,293	1,320,293
利益剰余金	△1,134,397	△1,294,254
自己株式	△234,410	△234,454
株主資本合計	5,208,686	5,048,786
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,139	30,754
土地再評価差額金	70,295	70,295
退職給付に係る調整累計額	△123,159	△116,366
その他の包括利益累計額合計	△19,724	△15,317
新株予約権	17,104	14,200
純資産合計	5,206,066	5,047,668
負債純資産合計	10,284,479	9,709,365

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	7,734,605	7,712,186
売上原価	2,100,768	2,188,473
売上総利益	5,633,836	5,523,713
販売費及び一般管理費		
人件費	3,015,254	2,957,081
退職給付費用	84,376	87,998
地代家賃	1,154,270	1,105,698
その他	1,478,326	1,453,991
販売費及び一般管理費合計	5,732,229	5,604,769
営業損失(△)	△98,392	△81,055
営業外収益		
受取利息	525	310
受取配当金	2,129	2,250
受取賃貸料	2,859	2,859
固定資産受贈益	5,145	3,221
受取事務手数料	-	2,514
その他	8,942	4,079
営業外収益合計	19,601	15,236
営業外費用		
支払利息	11,495	18,978
支払手数料	20,538	-
その他	7,018	4,883
営業外費用合計	39,052	23,861
経常損失(△)	△117,843	△89,681
特別利益		
新株予約権戻入益	5,219	2,904
店舗閉鎖損失引当金戻入額	-	9,371
特別利益合計	5,219	12,276
特別損失		
固定資産除却損	1,466	3,943
減損損失	3,332	13,000
店舗閉鎖損失	15,145	10,052
店舗閉鎖損失引当金繰入額	16,305	8,547
工場移転損失	-	3,847
工場移転損失引当金繰入額	19,845	4,459
固定資産処分損	13,431	9,897
特別損失合計	69,528	53,747
税金等調整前四半期純損失(△)	△182,152	△131,153
法人税、住民税及び事業税	28,300	29,260
法人税等調整額	△42	△556
法人税等合計	28,258	28,703
四半期純損失(△)	△210,410	△159,856
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△210,410	△159,856

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純損失(△)	△210,410	△159,856
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,546	△2,385
退職給付に係る調整額	△1,065	6,792
その他の包括利益合計	△3,611	4,407
四半期包括利益	△214,022	△155,449
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△214,022	△155,449
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△182,152	△131,153
減価償却費	234,451	227,423
固定資産処分損益(△は益)	13,431	9,897
減損損失	3,332	13,000
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△1,762	△36,330
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	16,305	△4,691
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	10,694	340
工場移転損失引当金の増減額(△は減少)	19,845	△15,386
受取利息及び受取配当金	△2,654	△2,561
受取賃貸料	△2,859	△2,859
支払利息	11,495	18,978
有形固定資産除却損	1,466	3,943
売上債権の増減額(△は増加)	28,278	26,881
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,549	△39,500
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△32,470	△10,149
仕入債務の増減額(△は減少)	△40,617	△34,320
未払消費税等の増減額(△は減少)	△145,797	△15,139
その他の流動負債の増減額(△は減少)	3,072	△39,722
その他	7,847	△32,184
小計	△61,642	△63,534
利息及び配当金の受取額	2,670	2,585
賃貸料の受取額	2,859	2,859
利息の支払額	△11,548	△18,978
法人税等の支払額	△67,546	△31,664
営業活動によるキャッシュ・フロー	△135,207	△108,732
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△356,112	△208,377
無形固定資産の取得による支出	△10,303	△48,165
長期前払費用の取得による支出	△14,694	△6,691
資産除去債務の履行による支出	-	△5,572
敷金及び保証金の差入による支出	△13,369	△453
敷金及び保証金の回収による収入	14,484	9,144
その他	△13,431	△9,897
投資活動によるキャッシュ・フロー	△393,427	△270,012
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	150,000	-
長期借入金の返済による支出	△230,500	△242,500
リース債務の返済による支出	△13,509	△28,170
自己株式の取得による支出	△97	△43
財務活動によるキャッシュ・フロー	△94,106	△270,714
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△622,741	△649,458
現金及び現金同等物の期首残高	2,902,574	2,388,946
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,279,832	1,739,487

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは同種の外食産業及びその補完的事業を営んでおり、単一セグメントであるため、記載を省略しております。